

JR東海労

4WD

大阪第一・二運輸所分会

No. 39

2017年2月05日

会社提案

「車内業務の見直し」に反対！！

昨年12月21日、突然会社は、「車内業務の見直しについて」東海労本部ではなしに、新幹線地本、新幹線関西地本へ同時に提案してきました。

大幅な要員削減に伴う労働条件の変更であり、地方本部への説明や業務委員会だけで協議し、提案内容を受け入れるという内容ではありません。

会社は、「地方で出てきた議論の中で、労働環境に変化があれば制度のあり方、運用のあり方、乗務員勤務のあり方について、後で議論する可能性があることは否定しない」と答えましたが、これらの言動は、労働組合との協議を形骸化するもので、不当労働行為であると言わざるを得ません。

本部は1月12日、地本は1月13日にそれぞれ団体交渉開催を要求する申し入れを行いました。

この会社提案以降、現場の多くの社員は、車掌2人乗務の提案自体に反対を唱えています。

しかし、既に提案当日、ユニオンの二つの地本（新幹線地本、関西地本）で同じ質問が繰り返されていました。**周到な準備は会社のお手伝いでしょうか？！**

会社は「車内防犯カメラの設置や、異常時の対応を迅速化する装備品の拡充、全社員への教育等により車内の安全強化に向けた取り組みを進めてきた」としています。

しかし、防犯カメラでは犯罪を防ぐことはできません。

また、列車火災事故が起きれば、新たに搭載された耐火手袋や、防煙マスクが役に立つとは到底考えられません。車掌2人で対応できないことは誰でも分かっています。

そして、全社員への教育といっても私用で乗車していたときに応援できるよう非現業社員に教育しただけであります。

リニア中央新幹線の建設費捻出のために会社は安全に関わる業務を関連会社に切り売りしようとしています。

私たちは、会社の安全軽視・営利優先の姿勢を許さず、乗客の安全、働く者の安全・ゆとりのため、今回の会社提案・施策には反対します！！